

期

キ・ユ

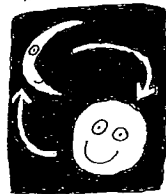
3画

一 廿 其 期 期

はわる

なりたち

箕(み) (米をふるつて、ぬかやこみをとりのぞく農具)の本字で箕の形をかたどった其と、月との会意形声字。竹で編まれ「四角形」で「きちつとした形をしている。期は、満月が欠けて元通りきちつとした形になるまでの間を表した字。転じて、「一周した時」をいう。また、「時を決める」こと。また、「目標」。



期

漢字学習コーナー

漢字学習コーナー

いみじゆく

▼一周した時。

周期：①一回りする時間。②同じ変化や運動を一回だけくり返すのにかかる時間。

▼時を決める。区切った時。

期限：前もってここまでと決めておいた、その時。【用例】期限が切れる。

期日：前もって決めておいた日。

期間：ある時からある時までの間。

学期：一学年を三つに分けた期間のこと。【例】学期末

前期：ある期間をいくつかに分けた中の、前の期間。

最期：命の終わる時。死。

▼待ち受ける。

期待：当てにして待ち受けること。

予期：前もって当てにして待ち受けること。

漢語を漢字で書くこと

III 日本語は大層抽象的なのに漢字は実に具体的です。だから、日本語を漢字で書き表しますと、具体的にわかりやすくなります。

例えば、「みる」という言葉は「見る・看る・視る・観る・診る」などいろいろな書き方がある、その見方がどんな見方かよくわかります。また、右の五字のうち、上の四字には「目」という字が使われているので、目を使う行為であり、診は「口」という字があるので口を使う行為であることがひとりでにわかります。

また、「きく」ではよくわかりませんが、「聞く・聴く」となればすぐにわかるでしょう。

同じ「つ」しむのでも、言葉をつつしむのは「謹」心をつつしむのは「慎」です。このように漢字を使つて書こうとしますと、自然ともの見方も考え方も細かく深くなり、書き手の気持ちも読み手によく伝わります。だから、漢字が多くて大変だと思わず、これらの漢字を一つ一つ正確に理解して使い分けられるようにしてほしいと思います。

※はかるのいろいろ

計る Ⅱ 数を読むこと。数字を測る Ⅱ 判断すること。

量る Ⅱ 重さや容積をはかること。(秤(はかり)や升を使つて)

測る Ⅱ 深さ(高さ・長さ)をはかる。

図る Ⅱ 計画を図に書いて検討すること。

夕

セキ

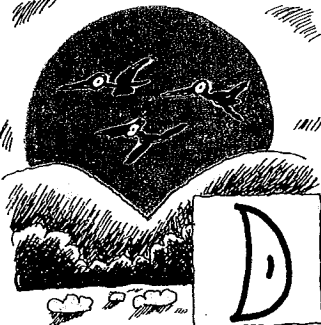
7画

夕

はらう

なりたち

月の形をかたどった字で、月の出る「夜」の意味を表した指事字。日の出ている「日中」に対して、月のある「夜間」を表した字。今は朝に對し、月の出掛かる「日暮れ方」の意味に使うことが多い。



いみじゆく

▼夕。夕べ。日暮れ方。

夕刻：夕方。日暮れ方。「刻」は昔の時の数え方。時刻。

夕影：夕日の光。【用例】夕影の射(す)こころ。

夕映え：夕日を受けて照り輝くこと。特に夕焼けを指す。

夕立：夏の午後(特に夕方)急に激しく降つて、すぐ止(や)む雨。

夕刊：日刊新聞で、夕方発行される新聞。

朝夕：①朝と夕。②朝な夕な。

いつも

一朝一夕：わずかの時間。

【用例】一朝一夕にはできない。

よみかた 夕明かり・夕方・夕霧・夕暮れ・夕食・夕涼み・夕月・夕波・夕飯・夕日・夕焼け・毎夕

さんこう 特別なよみかた↓

名

メイ・ミヨウ

7画

夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

はらう

なりたち

夜間の意味の夕と口との会意字。昔は夜間人に会えば互いに名のり合う習慣があった。「名のる」ことを表した字。転じて、「名前」。また、「名譽・有名」の意味に用いる。



いみじゆく

▼名前。

記名：氏名を書き記すこと。

有名：世間に名前が知れていること。【反】無名

名譽：名前をほめたえられること。譽れ。

▼有名。名譽。すぐれた。

名所：有名な所。景色や歴史などで有名な土地。名勝。

名物：①有名な産物。主に食品。②特徴があつて有名なもの。

名産：有名な産物。主に衣料・芸術品・自然の産物。

名門：有名な家門。名譽ある家柄。名家。

名言：①有名な言葉。②すぐれた表現の言葉。

名月：八月十五夜の月。また、九月十三夜の月。

さんこう 特別なよみかた↓

仮名・名残

夕名

夕名

さんこう 特別なよみかた↓

仮名・名残